

19/12/ 市民説明会質問案

東区から来た内田と申します。

今日で 回目の市民説明会です。私は毎回来ておりますが、なぜ 6 月に現状変更許可申請が答申まで至らなかったのか、なぜ 8 月に竣工時期を 2022 年 12 月から延ばすことになったのか。なぜ解体も復元も目処がたっていないのか。

40 分間市の説明を聞いても、一言でいうとなにか？というのがわかりませんでした。

市長肝いりの事業、建設費だけで 505 億円の事業が事実上ストップしている。

このままでは名古屋市 130 年の歴史で最悪の事業になってしまいます。

私は、原因は、「情報公開をしなかったから、さまざまなチェック機構（市民や議会など）が働かなかった」からのではないかと考えます。

今回配付された説明資料は元資料ではなく、名古屋市がまとめたものです。どうしても、都合の悪いものは説明していないのでは、と疑念を持ってしまいます。

国政でも都合が悪いことは「シュレッターにかけた」「サーバーから消した」と同じではないかと思わざるを得ません。

ところで、配付された資料ならびに何回か前の会場からの説明でようやくわかったのですが、2 ページの上と下

- ・令和元年 5 月 29 日 文化庁から現状変更許可申請に対する確認事項が示される
- ・6 月 19 日 確認事項回答書を提出 とあります。

その後 8 月 29 日に竣工時期を延ばすと表明しました。

で、3 ページ下に、9 月 24 日に文化庁から指摘事項の説明を受けるとあり、20 ページ以降に、指摘事項について説明はありますが、肝心の 5 月の確認事項については説明がありません。

確認事項を情報公開請求しましたが、このとおり本当に真っ黒です。何もわかりません。

そこで名古屋市職員に 4 点質問します

1 2022 年 12 月の竣工期限が延びたのは一言でいうとなぜですか

2 局長は情報公開について、「相手があること」だからと非公開いうが、文化庁から明確に出すなど言われましたか。言われたのであればいつどのような文書があるかお答え下さい

3.石垣部会には指摘事項について情報提供するといいますが、その前の、確認事項や、現状変更許可申請書、文化庁とのやりとりは石垣部会に示すのか

4.市民には確認事項と回答をいつ示すのか。文化庁のやりとりもいつ示すのか
明確な答えを要望します

現状を元資料に基づききちんと市民に説明しないと、ずるずると市の税金ならびに優秀な人材が使われていくだけで事業は全く進まなせん。

市長以外の職員の方にご答弁願います。